

特定

外来生物にご注意

日本固有の生態系への影響

人の生命・身体への影響

農林水産業への影響



カミツキガメ

ご注意ください！

埼玉県

被害を予防するためには どうすればよいの？

外来生物被害予防 3原則

1. 入れない

外来生物をむやみに日本に入れない。

2. 捨てない

飼っている外来生物を野外に捨てない。

3. 拡げない

野外にすでにいる外来生物は他の地域に拡げない。

問い合わせ先

中央環境管理事務所 ☎048-822-5199
 西部環境管理事務所 ☎049-244-1250
 東松山環境管理事務所 ☎0493-23-4050
 秩父環境管理事務所 ☎0494-23-1511
 北部環境管理事務所 ☎048-523-2800
 越谷環境管理事務所 ☎048-966-2311
 東部環境管理事務所 ☎0480-34-4011
 環境部みどり自然課 ☎048-830-3154

詳しくはみどり自然課ホームページ(外来生物)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BD00/gairai/gairai.htm>

R100 この広報誌は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

外来生物って何だろう？

外来生物とは…

もともと日本にいなかった生き物で、人間によって外国から持ち込まれたものをいいます。外来生物は、日本でわかっているだけでも2,000種を超えます。自然環境の中で、特に問題となっているのが、侵略的な外来生物です。

特定外来生物とは

外来生物の中で、地域の自然に大きな影響を与え、もともといた動物や植物を脅かす侵略的な外来生物を特定外来生物として、法律で指定しています。

外来生物はなぜいけないの？

- 1 もともとその地域にいる生きものの居場所を奪ったり、食べ物の取り合いをして生態系に大きな影響を与えます。(アライグマ)
- 2 毒をもっていたり、人をかんだりして危険があるものがいます。(カミツキガメ)
- 3 農作物や魚を食べてしまいます。(アライグマ、ブラックバス)

埼玉県内にいる代表的な特定外来生物



カミツキガメ

どこから来たの？

北アメリカ及び中央アメリカが原産です。
1960年代からペットとしてアメリカ合衆国から輸入されてきました。
近年、幼体が大量に輸入され、安く販売されていました。
しかし、逃げたり放されたりして野外で発見され、問題になっています。

どんな動物？



背甲長（甲らの長さ）約50cm、体重約35kgまで成長する大型のカメです。
川や沼などにすみ、目だけ出して泥にもぐっていることが多いと言われています。
普通、4月から7月に、20～40個の卵を産みます。



危険を感じると首をすばやくのばしてかみつこうとする。

体色は黒っぽいものから濃緑色、茶色など個体差がある

背甲は丸形か楕円形
3本のやや発達した隆条（キール）がある

頭部は大きい

甲らの後縁はのこぎり状になっている

上あごの先は尖るかほぼ平坦

四肢は頑丈で爪は鋭い

尾は長く、背側に1～3列の、のこぎり状の大型のうろこがある



カミツキガメと間違いやすい動物

同じカミツキガメ科に属するワニガメと似ています。
大きさや体色は個体によって様々ですが、ワニガメの方が頭部が大きく、甲板が山状に盛り上がり、全体的にゴツゴツしています。



カミツキガメ 最大背甲長 50cm



ワニガメ 最大背甲長 80cm

どんなものを食べるの？

雑食性。肉食傾向が強く、主に魚類、両生類、小型のカメ類、貝類、水生昆虫等を食べます。

カミツキガメがいたらどうなるの？

本来夜行性で深い水場を好むため、人が水中で危害を受けることは少ないのですが、陸にいる場合は、攻撃的で、首を伸ばして飛びかかるようにしてかみついてくることがあります。
大型個体にかまれたり引っかけられたりすると、大けがをすおそれがあります。

埼玉県内で見つかっているの？

平成18年に県東部地域で初めて発見されました。
発見場所は、水路や水辺の周辺などです。

もしも

カミツキガメを見つけたら……

むやみに手を出すことは大変危険です。
見つけたら地元の警察署、市町村または県環境管理事務所へ連絡してください。